

第8次大和市総合計画（後期基本計画）成果を計る主な指標の検証

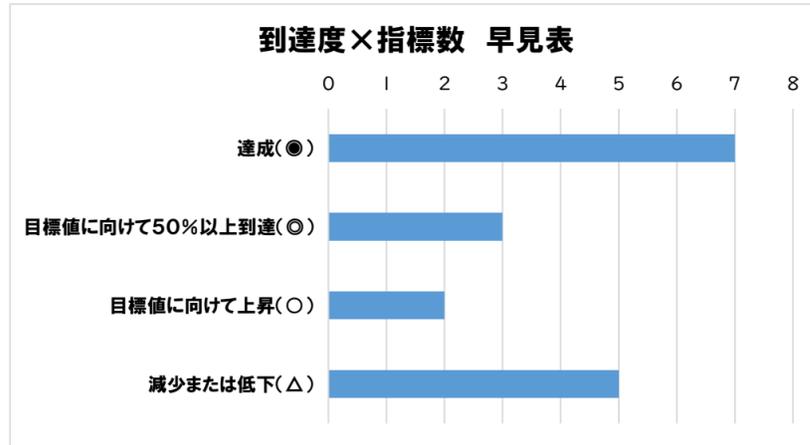
基本目標 1 一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち

▼成果を計る主な指標・最終目標値H30年度の達成状況

目標値に達した指標数	/	指標数
7	/	17

目標値に向けて50%以上到達した指標数	/	指標数
10	/	17

目標値に向けて上昇した指標数	/	指標数
12	/	17



指標の項目	当初値 H24	目標値 H30	実績値 H30	到達度	
				率	到達
1 自ら健康づくりに取り組んでいる市民の割合	63.1%	75.0%	62.3%	-6.7%	△
2 肺がん検診受診率	15.5%	27.5%	20.4%	40.8%	○
3 65歳以上のインフルエンザ予防接種受診率	34.0%	50.0%	32.7%	-8.1%	△
4 自殺死亡率(人口10万人あたりの自殺死亡者数)	20.9人	15.5人	13.1人	144.4%	●
5 休日夜間急患診療所(一次救急)の年間患者取扱件数	13,018件	14,000件	11,854件	-118.5%	△
6 二次救急での中度・重度患者の割合	12.1%	17.0%	17.2%	104.1%	●
7 地域の診療所等から市立病院に紹介された患者の割合	46.9%	65.0%	65.6%	103.3%	●
8 患者満足度調査における満足度の割合	89.1%	94.0%	88.4%	-14.3%	△
9 高齢者が地域で生き生きと活動していると思う市民の割合	54.6%	57.0%	60.8%	258.3%	●
10 シルバー人材センターの会員数	894人	1,090人	993人	50.5%	◎
11 介護予防講座受講者数	324人	536人	1,425人	519.3%	●
12 介護を必要とする人が安心して暮らしていると思う市民の割合	47.3%	65.0%	54.0%	37.9%	○
13 介護サービス利用者の満足度の割合	62.3%	70.0%	68.1%	91.5%	◎
14 障がい者の地域移行率	39.0%	45.2%	51.1%	195.2%	●
15 地域に支え合う人のつながりがあると思う市民の割合	41.9%	46.0%	44.9%	73.2%	◎
16 国民健康保険制度における特定健康診査の受診率	32.0%	60.0%	30.1%	-6.8%	△
17 保護受給世帯のうち、働ける世帯(その他世帯)の割合	21.8%	20.0%	11.4%	577.8%	●

～総括～

・17の成果を計る主な指標のうち、目標値に達したものは7、目標値に向けて50%以上到達したものは10と、半数以上の指標が目標値に対して高い到達度を示し、「一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち」の達成に向けて掲げた指標の達成状況としては、市の取り組みが着実に成果を上げている結果と受け止めています。

・主な例としては、「⁹高齢者が地域で生き生きと活動していると思う市民の割合」が上昇しており、「70歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言の理念の発信や、高齢の方の居場所づくりにもつながるシリウスの整備など、様々な施策の成果が寄与していることが考えられます。また、「⁷地域の診療所等から市立病院に紹介された患者の割合」が目標値を達成しており、地域医療を支える市立病院において、診療所や地域内の医療機関との連携が進んでいることが窺えます。加えて、介護サービスの質の確保・向上を進めた結果として「¹³介護サービス利用者の満足度の割合」も上昇しています。

・数値が減少(低下)しているものについて、「⁵休日夜間急患診療所(一次救急)の年間患者取扱件数」は目標を達成していないものの、日中のかかりつけ医などで診療を受ける適正受診が進み、減少していると捉えると、前向きな結果として受け止めることもできると考えます。また、「³65歳以上のインフルエンザ予防接種受診率」は積極的な接種勧奨とならないよう国の方針が示されていることを踏まえ、当初と比較しても大きな変動はありません。市立病院の「⁸患者満足度調査における満足度の割合」はわずかに低下していますが、引き続き、外来診察や会計での待ち時間の短縮などに努めていきます。

・健康づくりの知識の普及啓発や健康相談等の取り組みを進めてきた中で、「¹自ら健康づくりに取り組んでいる市民の割合」が横ばいで推移していることや、「¹⁶国民健康保険制度における特定健康診査の受診率」が伸び悩んでいることは特に課題と捉えています。高齢化の進展に伴って、今後、健康の持つ価値が一層高まることが想定され、健康都市やまと総合計画においては、基本目標を健康と福祉の分野に分割し、それぞれの充実を図っていることから、これらの課題を踏まえて、取り組みをさらに推進していく考えです。

(総合計画審議会のコメント)

成果を計る主な指標の達成状況の検証(課題となるものを抜粋)

①自ら健康づくりに取り組んでいる市民の割合

(達成状況に関する市の考え方)

・さまざまな機会を捉え健康づくりの啓発を行い、健康教室や健康相談等の利用者実績は増加しているものの、目標は達成できませんでした。今後も健康づくりの知識の普及啓発、健診後の個別相談等を通して、自主的な健康づくりの意識が高められるように努めます。

(総合計画審議会のコメント)

②国民健康保険制度における特定健康診査の受診率

(達成状況に関する市の考え方)

・対象者へのPRや受診勧奨に努めているものの、目標値には到達していません。国から示された値に基づき設定した目標値が現実から乖離していたことが原因と考えられます。一方で、県内19市との比較では上位に位置していることから、今後は現実に則した目標値を設定した上で、受診券様式の工夫等の受診率向上に引き続き努めます。

(総合計画審議会のコメント)